

小林剛 （こばやし たけし） 美術史學者、文學博士。明治二十六年十月一日茨城縣水戸生れ、昭和四十四年五月二十六日没（一九〇二—一九六九）。昭和四年東京帝國大學文學部卒。東京帝室博物館鑑査官、文化財保護委員會技官等を経て、二十六年奈良國立文化財研究所所長。殊に日本彫刻史の研究に從事。

著書『東寺の研究』（合著・洛東社編、昭和九年四月）（京都・洛東社）、『日本美術史年表』（藤田経世共編、昭和二十七年七月十五日創元社「創元選書」）等。

